

《指定課題1》「住み続けられる国土」を維持するための地域課題の解決等に関する研究

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
白川 慧一 (7) (土地総合研究所)	Real Estate Tech サービス提供の実態と地方圏における活用可能性に関する研究	IT を用いて不動産業の新たなサービスを提供する「Real Estate Tech」に対し、全国の一般市民が認識するメリットと利用可能性をインターネット調査により明らかにすることを通じて、今後の地方圏への導入可能性について考察した。
都築 伸行 (4) (森林総合研究所)	地域づくりにおけるキーパーソンのライフヒストリー分析による山村活性化の成功要因の解明	山村活性化の成功事例において、「あの人が居たから成功した」と言わしめるキーパーソンのライフヒストリーをインタビュー調査から明らかにし、成功要因との関係性を地域固有か他地域に適用可能な普遍的なものかに整理して分析した。

《指定課題2》「稼げる国土」の形成に関する研究

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
<該当なし>		

《指定課題3》 将来の国土利用・国土管理のあり方に関する研究

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
山下 良平 (5) (石川県立大学)	保護すべき地域資源の「適切な利用価値化」によるレジリエントな地域への基盤構築	本研究では、希少さ故に保全対象としてのみ扱われてきた地域の生物資源について、地域内外からの評価をもとに、地域再生への契機となる可能性を探索した。結果を活用した今後の地域活性化計画のあり方を検討する。

《指定課題4》地理空間情報の可視化等による持続可能な国土・地域の形成に関する研究

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
浅輪 貴史 (8) (東京工業大学)	携帯端末アプリを用いた住民主体の都市緑地の価値の共有化と可視化 — 地域環境政策への応用を目指して—	本研究では、緑に関する環境情報や住民の緑地や緑化に対する意識に関して、携帯端末アプリを用いて情報収集するとともに、可視化によって環境の価値として提示する仕組みを構築し、対象住宅地においてその有効性を確認した。

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
石松 一仁 (2) (中国地方総合研究センター)	地理空間情報を活用した都市域における人と自然の共生モデル構築に関する研究 -レインガーデンの最適配置計画を基軸として-	生態系を基盤として防災・減災 (Eco-DRR) を図るグリーンインフラ戦略が平成 27 年 8 月に国土形成計画に位置づけられたが、現状では概念提起に留まっている。本研究は、レインガーデン (雨庭) の社会実装化に向けた政策課題について議論する。
高取 千佳 (1) (名古屋大学)	国土の適切な管理に向けた景域管理作業量の算出と可視化 -中部 8 県を対象として	本研究では、中部 8 県を対象に、都市部から農村部、中山間部にかけて景域ごとの維持管理作業量が現状どの程度であるかを明らかとする。さらに、将来人口減少・高齢化する中で、どういった場所での程度管理が不足してくるか、どういった対応策が考えられるかを示す。
寺床 幸雄 (3) (立命館大学)	中山間地域における新しい集落類型の検討と地域支援への応用に関する地理学的研究	本研究では、中山間地域における新しい集落類型の検討のために、GIS による小地域の空間データ分析および現地調査を行った。人口や産業の変容が進む中で、地理的条件と地域社会の実態をふまえた類型を検討した。

《指定課題 5》 国土・地域政策の海外展開に関する研究

代表者名	研究テーマ	成果発表の概要
近藤 早映 (6) (東京大学)	海外成長都市の市民交流拠点における地域ガバナンス形成に関する研究 ~ラオス・マレーシア・豪州の大都市圏の日系都市計画地区に着目して~	本研究は、ラオス・マレーシア・豪州という異なる都市化段階にある都市の市民交流拠点を対象に、その機能 (場所性) や拠点活用におけるガバナンス形成及び交流の事例を明らかにし、交流の促進可能性の展望と政策への示唆を得るものである。

(敬称略、50音順)

※ 代表者名欄のカッコ内が発表の順番となります。